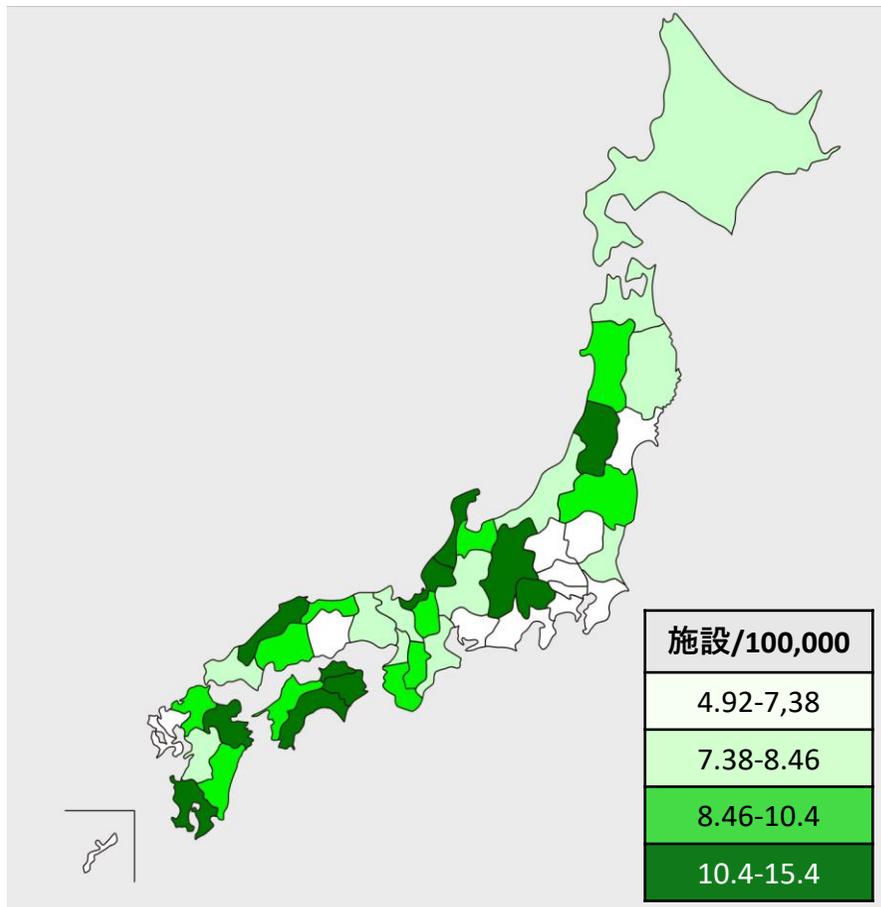


厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業

「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」

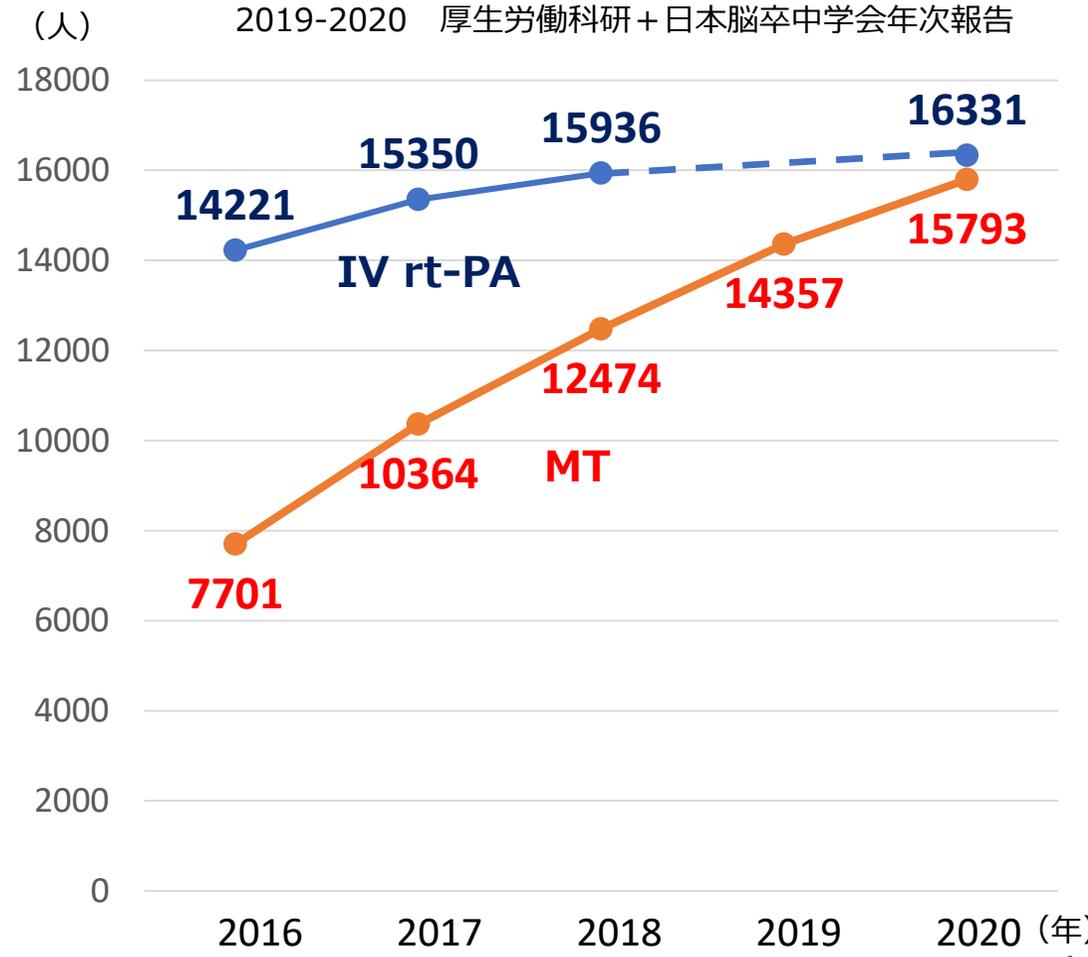
研究代表者 坂井信幸 (神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科)

一次脳卒中センター 963施設 (2021年)



アルテプラゼ静注療法(IV rt-PA)、 機械的血栓回収療法(MT)年次推移

調査施設数 1,458
 2016-2018 厚生労働科研+RESCUE JAPAN
 2019-2020 厚生労働科研+日本脳卒中学会年次報告



厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業 「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響調査

2021年1月10日

日本脳卒中学会一次脳卒中センター御中

厚生労働科研「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」および日本脳卒中学会急性期連携医療プロジェクト 2019, 2020年の脳卒中診療実績、COVID-19の影響に関する調査

問い合わせ先: stroke.res.group@gmail.com
参照 URL: <http://sc-res.umin.jp/>

依頼内容

(1) すでに報告いただいた施設

Google フォーム URL: <https://forms.gle/4Tt7LJfjJJ6qxeu9>

症例数未報告の場合は、エクセルファイル（アンケート A2）を、メール添付で stroke.res.group@gmail.com にお送り下さい

(2) 未報告の施設

1) 添付のエクセルファイルへの記入

2) グーグルアンケートにアクセスし、エクセルファイル（アンケート A2）のアップロードと回答
診療科ではなく施設単位でご報告をお願いします
グーグルアドレスのない場合に、ファイル添付ができないと指摘を受けています
メール添付で stroke.res.group@gmail.com にお送り下さい

3) グーグルアンケートにアクセスできない時は、エクセルファイル（アンケート B2）をメール添付で stroke.res.group@gmail.com にお送り下さい

Google フォーム URL: <https://forms.gle/AGaE1exLQ4MjJTHA9>

恐れ入りますが、2021年1月20日までに、ご報告いただきますようお願いいたします。

拝啓 先生にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

急性脳梗塞に対する再開通療法の有効性が確立し、先行研究班（脳卒中の急性期診療体制における施設間連携体制構築に関する研究）では、いわゆる drip & ship を含む転送による機械的血栓回収療法の実施が安全に行われていることを示しました。2019年には日本脳卒中学会の脳卒中センター認定事業が始まったのですが、2020年になり、突然やってきた COVID-19 の蔓延が我々の日常生活、脳卒中診療に大きな影響を及ぼしました。

この度、厚生労働科学研究「脳卒中の急性期診療体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」班を組織し、3年間活動することになりました。本研究は、日本脳卒中学会の脳卒中センター認定が開始されたことによる、地域における脳卒中急性期の診療体制の現状、課題及びその解決策を明らかにすることです。研究班の発足と前後して拡がった新型コロナウイルス感染症は、脳卒中診療にも大きな影響を及ぼしました。そこで研究班では、2019年と2020年の診療実績の変化と感染症の影響をまず調査し、その結果を検討することにしました。

なお、先行班が蓄積した2016年から2019年の機械的血栓回収療法に関する施設間連携の現状把握は貴重なデータとなっていますので、本研究班でも継続しようと考えています。

ご多忙のところ恐縮に存じますが、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

敬具

診療実績：発症7日以内の急性期脳卒中について入院数（脳卒中・脳梗塞（IV-tPA、MT）を月毎に件数をご記入お願いします
グレーのカラムはもしお判りでしたらお願いします
LVO=ICAM1/M2,VA,BA閉塞と定義します

		脳卒中	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	IV-tPA	血栓回収療法
2019年	1月						
	2月						
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
2020年	1月						
	2月						
	3月						
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						

診療実績：発症7日以内の急性期脳卒中について入院数（脳卒中・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）および治療数（IV-tPA、MT）を月毎に件数をご記入お願いします
グレーのカラムはもしお判りでしたらお願いします
LVO=ICAM1/M2,VA,BA閉塞と定義します

		脳卒中	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	IV-tPA	血栓回収療法	全LVO入院（内科的治療含む）	COVID陽性脳卒中	COVID陽性患者	一般外来	脳卒中入院	予定手術	緊急手術	予定血管造影/血管内治療	緊急血管造影/血管内治療
2019年	1月															
	2月															
	3月															
	4月															
	5月															
	6月															
	7月															
	8月															
	9月															
	10月															
	11月															
	12月															
2020年	1月															
	2月															
	3月															
	4月															
	5月															
	6月															
	7月															
	8月															
	9月															
	10月															
	11月															
	12月															

施設名 _____
 部署名称 _____
 担当者 _____
 メール _____

送付先 stroke.res.group@gmail.com

厚生労働科学研究費補助金 循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業
 「脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究」

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響調査

- 医療機関の機能制限について
- 3大病型と血行再建術の月別実績、2019年と2020年の比較

診療実績：発症7日以内の急性期脳卒中について入院数（脳卒中・脳梗塞・脳出血・くも膜下出血）および治療数（IV-tPA、MT）を月毎に件数をご記入お願いします グレーの欄はもしお判りでしたらお願いします LVO=ICA,M1/M2,VA,BA閉塞と定義します										診療体制への影響の有無を概算・印象で（A=通常通り、B=軽度（70-99%に制限）、C=中等（同30-69%）、D=重大（同1-29%）、E=停止、F=その他：自由記載）をお願いします									
		脳卒中	脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	IV-tPA	血栓回収療法	経LVO入院（内科的治療含む）	COVID陽性脳卒中	COVID陽性患者	一般外来	脳卒中救急入院	予定手術	緊急手術	予定血管造影/血管内治療	緊急血管造影/血管内治療			
2019年	1月																		
	2月																		
	3月																		
	4月																		
	5月																		
	6月																		
	7月																		
	8月																		
	9月																		
	10月																		
	11月																		
	12月																		
2020年	1月																		
	2月																		
	3月																		
	4月																		
	5月																		
	6月																		
	7月																		
	8月																		
	9月																		
	10月																		
	11月																		
	12月																		

一次脳卒中センター974施設へ
 回答依頼
 576 (59.1%) 施設から
 延べ983回の回答 (2020.2.1)

結果1
 医療機関の機能制限について

← グラフは、F:その他を除いた分母で表示

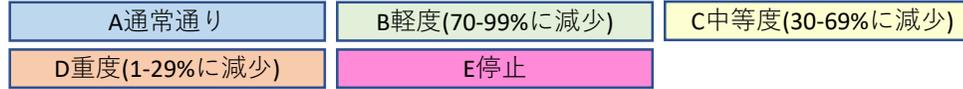
施設名	
都道府県	
回答者	
メール	

送付先 stroke.res.group@gmail.com

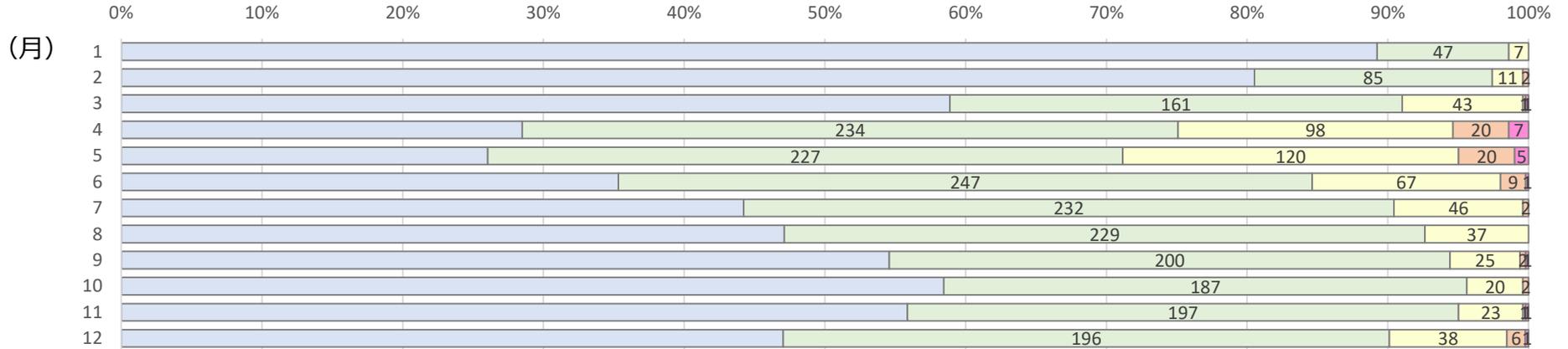
結果2
 3大病型と血行再建術の月別実績、
 2019年と2020年の比較

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響：医療機関の機能制限

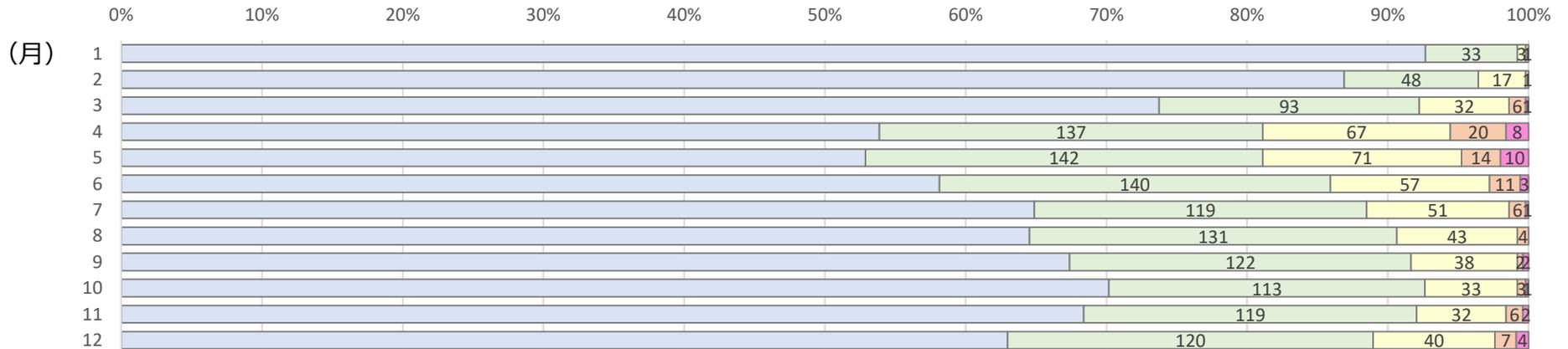
2019年と2020年の比較



診療体制への影響（一般外来）

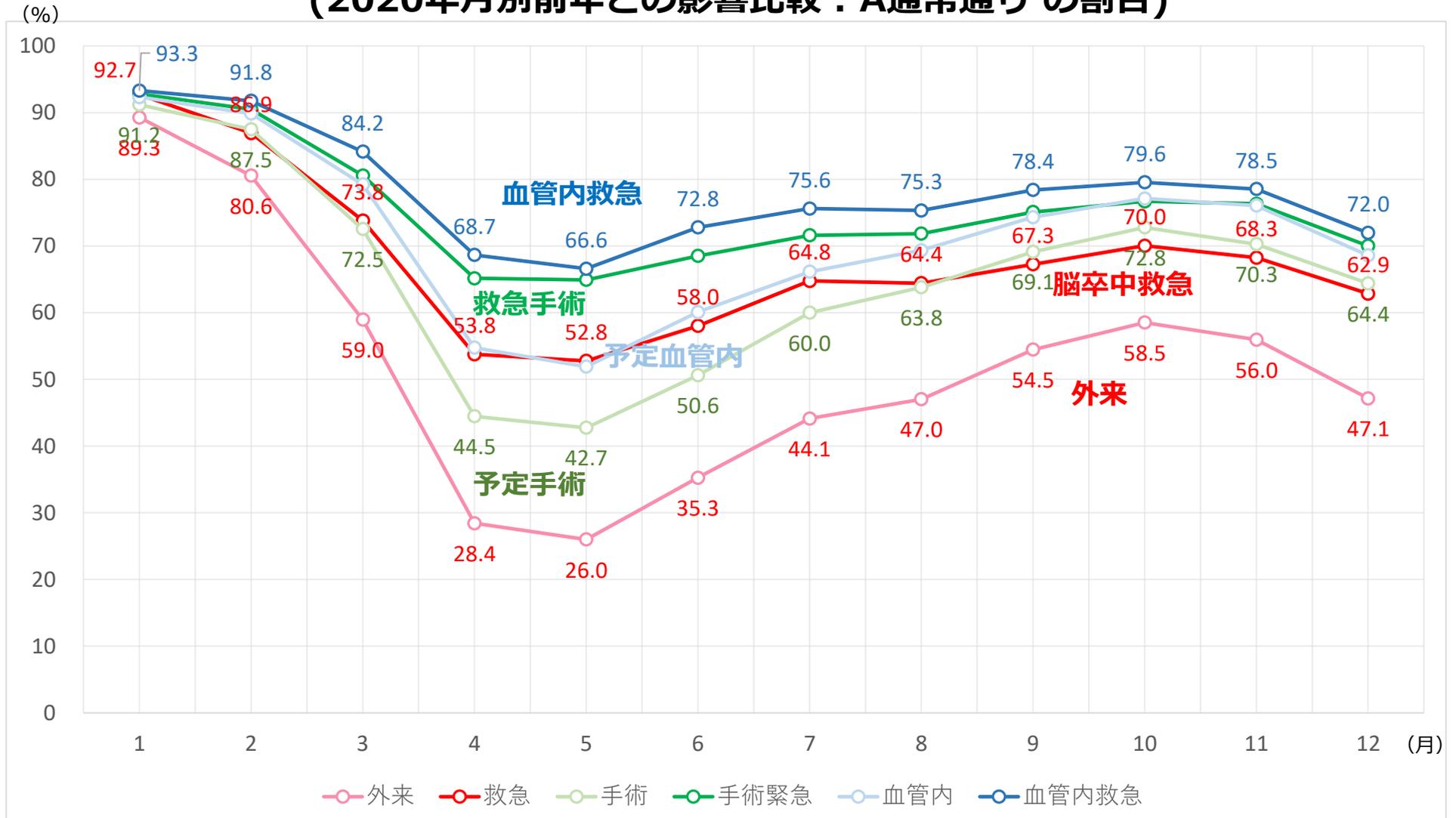


診療体制への影響（脳卒中救急入院）



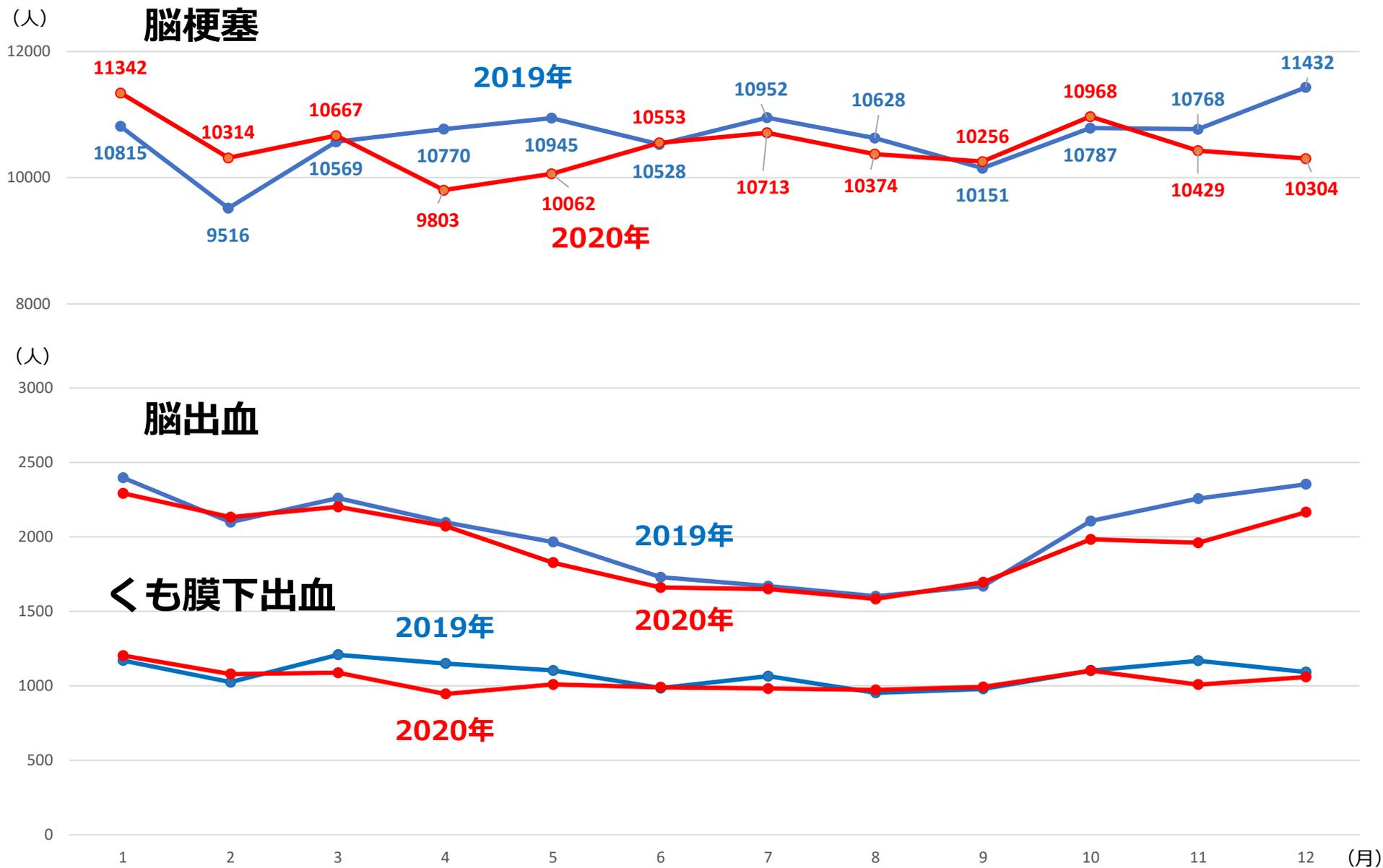
COVID-19の急性期脳卒中診療への影響：医療機関の機能制限

医療機関の機能制限がなく、2019年同月と比較して、変わらぬ診療が行えていた割合（※）
 （2020年月別前年との影響比較：A通常通りの割合）



※一次脳卒中センター974施設へ回答依頼し、回答のあった576施設(59.1%)のアンケート結果
 少しでも診療に影響があった場合は、A通常通りの回答にはならなかった点に留意が必要
 また、機能制限が「診療が行われていない」ことを意味するものではない点にも留意が必要

COVID-19の急性期脳卒中診療への影響：3大病型の月別実績



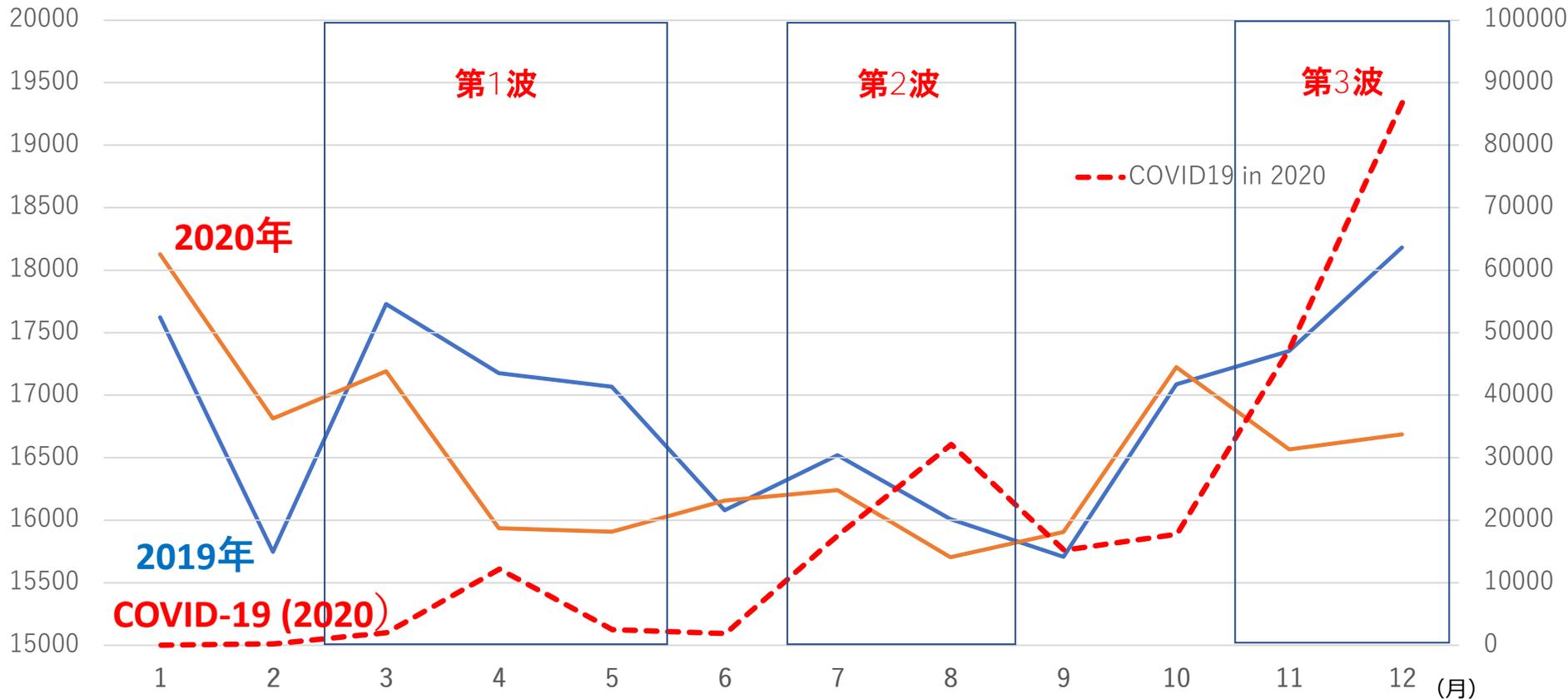
脳卒中（脳梗塞+脳出血+くも膜下出血）入院患者数の推移 一次脳卒中センター530施設を対象

脳卒中入院患者数
(実線)

(人)

COVID-19
新規感染者数
(点線)

(人)



COVID19 月別新規感染者数:NHK 特設サイト <https://www3.nhk.or.jp/news/special/coronavirus/data-widget/>

2020年の感染拡大期と感染安定期の脳卒中入院患者数の比較 (対2019年)

感染拡大期 (3-5月、7-8月、11-12月)、感染安定期 (1-2月、6月、9-10月)

2020年脳卒中入院患者数 (対2019年)	感染拡大期	感染安定期
全体 (n=530施設)	-4.27±20.7%	4.97±20.7%
感染者2300人/人口100万人 未満 (n=405施設)	-3.07±21.3%	5.97±28.4%
感染者2300人/人口100万人 以上 :北海道,東京,神奈川,大阪,沖縄 (n=125施設)	-8.15±17.9%	1.72±19.6%

統計的有意性: 拡大期 vs 安定期 (P<0.001), 拡大期 vs 全体 (P=0.009), 安定期 vs 全体 (P=0.06)

- 全国530のPSCの急性期脳卒中(脳梗塞+脳出血+くも膜下出血)の入院患者数は、感染拡大期は減少し、安定期には増加していた。
- 2020年12月末時点で、人口100万人当たりのCOVID19感染者数が2300人以上の地域(北海道,東京,神奈川,大阪,沖縄)では有意に減少しており、感染拡大期の入院数減少は感染者数が多い地域で顕著であった。
- COVID19感染拡大に対する感染対策と行動変容が、感染者の多い地域において脳卒中発症者数の減少に関与した可能性がある。